

きょうどをひらく

1 きょうどをひらいた人々

鮫川村は、高地にあるためにたびたび冷害^{れいかい}にみまわれ、が死する人も出るほどで、村の人々はたいへんくろうしました。また、今から60年ほど前までは、道ははげがせまく、馬車がやっと通れる^{とお}くらいで、きけんなところもたくさんありました。

しかし、今では、村の道はたいへんよくなり、他のちいきの人々との行き来もさかんになりました。

それは、村の開発に力をつくした人々のおかげなのです。

村を^{ひら}開いた人々について、次の点から考えたり、調べたりしましょう。

○村のためにつくした指導者^{しどうしや}の熱意^{ねつい}と行動

○工事の苦勞^{くるう}（そのころのぎじゅつや道具）

○みんなの協力^{きやうりき}

○県や国のえんじょ

また、他の土地の開発のようす「わたしたちの郷土^{きょうど} 福島県」を参考^{さんこう}に、調べましょう。